

令和5年度 第3回学校運営協議会議事録

- 1 日時 令和5年11月24日（金）午前9時30分から11時30分まで
- 2 場所 静岡南部特別支援学校 小会議室
- 3 出席者
 - (1) 学校運営協議会委員
 - ・地域住民 ・NPO 法人ひまわり 副理事長
 - ・静岡済生会療育センター令和 療育支援課 ・本校 PTA 会長 *欠席3名
 - (2) 校内教職員
 - ・校長 ・教頭 ・事務長 ・部主事 ・訪問主任
 - ・特別支援教育コーディネーター ・教務主任
- 4 学習の様子紹介
訪問教育の学習について、NANBU ムービーフェスで披露した動画で紹介した。
- 5 今年度の取組「地域とのつながりについて」報告
 - (1) 進路地域支援課
 - 従来からある交流活動の実施
 - ・静岡東ロータリークラブとの交流
 - ・駿河総合高校との合同壁画制作
 - 地域への積極的な発信
 - ・校外作品展示（近隣の施設）
 - ・玄関前と通用門への学習の様子の掲載「南スタグラム」
 - ・学校だよりの地域への配布
（児童生徒が直接地域の町内会長に渡しに行く）
 - 地域の方とともに行う行事
「なんぶっことボッチャ」
（地域住民が来校し、児童生徒とボッチャ対戦をする）
児童生徒の様子・周りを興味深く観察し、落ち着いて受け入れた
 - ・地域の方が手を差し出すと、自分から手を伸ばした
 - ・笑顔でボールをもらった チームメイトに渡した
 - ・ハイタッチや、自分から声を出して一緒に応援した参加者の様子
 - ・投球準備や応援 ・関わり方を質問
 - ・教具に興味をもち、生徒がやりやすい方法を工夫してくれた
 - ・温かく見守り、待ち、優しく話しかけてくれた
 - ・掲示を見て感心していた
 - (2) 小学部
 - ・近隣の商業施設での買い物学習

- ・近隣の公園での散策
- ・西豊田小学校との学校間交流（ボッチャ、ムービーフェスの紹介）
- ・静岡視覚特別支援学校との学校間交流（昼休みを活用した日常的な交流）

(3) 中学部

- ・近隣の商業施設での買い物学習
- ・スマートアクアリウムでの校外学習
- ・静岡市街地での校外学習（静岡の名物、働く人、公共施設の利用）
- ・外部講師の活用（移動水族館、WAZA チャレンジ・こて砂絵）
- ・豊田中学校との学校間交流（ボッチャ）

(4) 運営協議会委員の感想・意見等

- ・なんぶつことボッチャ、参加者が集まって良かった。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う制限の緩和により、少しずつ外部とのつながりを持った学習ができるようになってきた。実際に行くことが大事。
- ・段階的に学びを積み重ねる事前学習、自分で興味を持っていることを選んでいく体験、実際の雰囲気や五感で感じとる体験は、今後も続けていくと良い。

6 グループ協議

(1) なんぶつことボッチャの運営について

次年度以降、地域住民に知ってもらい参加者をさらに増やしていくための取組みについて検討した。

- ・本校の学校だよりやなんぶつことボッチャのポスターを配布している回覧板の範囲を拡大や地域の商業施設にポスター掲載依頼
- ・今年度の参加者に再度呼びかける。また、今年度の参加者の参加理由について検証すると、次年度に案内する際の手がかりとなる。

(2) 令和6年度に向けた地域とのつながり

- ・福祉事業所と体育館でボッチャに取り組む。
- ・ボッチャの器具を貸し出す。
- ・進路学習の一環で、福祉事業所の見学や仕事の体験をさせていただく。

7 校長挨拶

前回の学校運営協議会の後日、本校職員がひまわり事業団の見学会を実施した。実際に見ることでひまわり事業団の取り組みを知ることができ学ぶことが多かった。

本日のグループ協議の中で出たアイデアから「学校と地域とが双方向につながる」ためにできることについてさらに検討し、実現させていきたい。

また、本校は市街地にあることから立地に大変恵まれている。本校の児童生徒が近隣活動している様子について地域の人々に気づいてもらうことでも、本校への関心が高まると考えている。